

平成29年度 事後事務事業評価シート

事業名	情報発信事業	担当課・グループ	作成者（職・氏名）
		まちづくり推進課・企画調整グループ	主事・長瀧夢子

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成24年度	事業主体	会計区分	予算科目			
	事業終了年度	平成37年度	町	一般	2	1	6	842
事業の性質	法令に基づかない自主的事業			条例等の有無		無		
根拠法令・例規計画等	無							
総合計画	基本目標	みんなで支えるあつま						
	基本施策	住民自治の推進						
	施策項目	広報・広聴の充実						
	※総合戦略	快適に暮らせるあつま・みんなで支えるあつまー住民自治の推進一きめ細かな情報発信						

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	町民に対し、タイムリーかつきめ細やかに行政情報を発信し、情報共有を図ることにより、町民の町政への参画意識を高め、協働のまちづくりを推進する。また、町外に対し、町の魅力や優位性を積極的に発信することにより、認知度の向上を図ることで「選ばれるまち」を目指す。
事業の内容 (手段・方法等)	HP・SNS (Facebook等) を利用した情報発信 テレビ・新聞・ラジオ・雑誌等各種メディアを活用した情報発信 厚真町公式キャラクターを活用したPR活動
対象	町内外全ての方
成果目標	町HPのアクセス数の増加 厚真町の認知度向上

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移		26年度実績 (評価対象前々年度)	27年度実績 (評価対象前年度)	28年度実績 (評価対象年度)	29年度予算 (評価実施年度)	適用
総事業費		4,532	10,146	10,008	7,994	
事業費		4,532	10,146	10,008	7,994	
特定財源	国・道支出金		2,563	2,700	3,600	H27地方創生先行型交付金 H28いきいきふるさと推進事業補助金 H28地域づくり総合交付金 H29地域づくり総合交付金
	町債					
	その他					
一般財源		4,532	7,583	7,308	4,394	
人件費 (@4,000*時間数)						事務事業時間配分計算表(別紙)により算定
事業費の 主な内訳	旅費	76	304	153	65	
	需用費	152	329	209	172	
	役務費	3,063	610	1,343	3,603	広告料 等
	委託料	1,945	824	8,145	3,994	広告宣伝媒体委託料 等

--	--	--	--	--	--	--

② 実績・成果

指標名称			27年度(実績) (評価対象前年度)		28年度(実績) (評価対象年度)		29年度(見込) (評価実施年度)		37年度 (目標年度)	
			数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
主な活動指標	目標			件		件				
	実績			件		件				
	達成度			%		%		%		%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する 町公式HP・SNS(Facebook等)を利用した情報発信 各種広告媒体を活用した情報発信 厚真町公式キャラクターを活用したPR活動の実施		①タウンプロモーション(吉田類) ②新聞・雑誌広告 ③あつまるくん出演回数58回		①町ホームページ更新。(町外向けのブランディングサイトと行政情報ページを作成。) ②職員向け講習会開催(札幌市立大学)。 ③あつまるくん出演回数50回					
主な成果指標	町公式HPのアクセス数	目標	120万	件	130万	件	140万	件	150万	件
	実績		108万	件	108万	件		件		件
	達成度		90	%	83	%		%		%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する									

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	様々な媒体を活用し、性別、年齢および町内外を問わず幅広い方を対象に情報発信しており、妥当である。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	事業の性質上、有効性を評価する定量的指標の設定は難しい。しかし、アウトプットの手法、回数を拡充していることから、より多くの方に情報が発信されている。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	ターゲットに合わせ、多様な情報媒体を活用している。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等

予算	継続(縮小)	サービス	継続(拡大)	方向性	拡大
理由	平成28年度に町HPの大規模な更新を実施し、本年度については、予算的には縮小しているが、サービス、方向性については、随時、HPページの内容の充実を図りつつ、新たにHPのブランディングイメージと連動した広告活動を実施するなど、拡充を図ることとしている。				
課題および改善提案	情報発信は、情報の正確性や即時性が最も重要であることから、随時更新し作業を行うとともに、より効果的、効率的に発信するため、先進事例等の情報収集が必要である。また、所管であるまちづくり推進課はもとより、各課における情報発信に対する意識を高める取り組みが必要である。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択。

6 評価(本欄は、理事者ヒアリング・内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(拡大)	方向性	拡大
意見	”あつまるくん”の動員はイベント主催者側の要請を待つだけではなく、町からイベント主催者側に起用を働きかけるなど、積極的PRを図ること。				



7 外部評価委員会評価結果

予算	継続（縮小）	サービス	継続（拡大）	方向性	拡大
附帯意見	<ul style="list-style-type: none"> ・発信する情報を効率的に収集するための仕組みづくりを検討すべき。 ・情報発信に係る意識統一を図るため、定期的に各課の担当者を集めて、会議等を実施すべき。 				
その他意見	—				

評価に対する町の考え方

- ・発信する情報を収集し、各課横断的に情報共有を図る仕組みとして、本年8月に庁内各グループの主幹級職員で構成する広報連絡委員会を設置したところです。
- ・広報連絡委員会では、毎月1回広報会議を開催することとしており、今後は、その会議を通じて職員全体の情報発信に対する意識の啓発や情報発信スキルの向上を図ることとしています。